



学校だより よつわ

教育目標「進んで学び 生き生きと活動する子ども」

柏崎市立田尻小学校 No. 5 (R6. 8. 29)

田尻小ホームページ : <https://www.kenet.ed.jp/tajiri/tayori/>



「考え、議論する道徳」への転換

～9月11日、学習参観は、全校一斉の道徳授業公開～

校長 ○○ ○○

今年も暑い夏を過ごし、元気によつわっ子が登校してきました。友達や担任との再会を楽しんでいるように見えました。まだまだ、暑さは続きそうです。熱中症への対策を家庭でも、学校でも引き続き取り組んでまいりましょう。

さて、パリオリンピックをご覧になりましたか。柏崎市出身の富澤慎選手は、日本のセーリング界のレジェンドです。オリンピックに5回連続出場という快挙、そして、結果は全体の18位でしたが、新しい競技への挑戦で、全力のパフォーマンスを見せてくれました。大きな拍手を送りたいと思います。また、新潟産業大附属高校の野球部の甲子園での大健闘は記憶に残るとともに、大きな感動を与えてくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、9月11日は、道徳の授業を一斉に公開する学習参観日です。どうぞ、お時間をつくり、来校をお願いします。そして、ご自分のお子様だけでなく、他の学級や学年にも少し足を運んでみてください。子供たちは、一步一步前に進もうとがんばっています。田尻小では、夏休み明けに1名増え全校児童数は420名となりました。市内では大規模校の田尻小学校です。一人一人の個性も豊かです。そのためか、毎日のように何かしらトラブルが起こります。担任は、できる限り状況をつかみ、問題を解決しようと日々奮闘しています。

社会を考えると将来の変化を予測することが困難な時代に入り、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくことが重要となると考えています。そのために必要な資質・能力を養うために、道徳教育はこれまで以上に重要な役割を果たす教科になりました。これまでの道徳の時間については、「読み物の登場人物の心情理解を中心とした授業」「決まりきった答えを言わせたり書かせたりする授業」が多いという課題も指摘されてきました。今から6年前、これまでの「道徳の時間」を、他の教科のように数値で評価するのになじまないとして、新たな枠組みである特別の教科という形をとり、新たに「特別の教科 道徳」として教科に位置づけられました。答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の子供が自分自身の問題としてとらえ向き合う、「考え、議論する道徳」の授業づくりを各学年で考え、公開したいと思っています。8月23日には、上越市の白山会館を教員22名で訪れ、部落差別問題を中心に学習会に参加してきました。差別事象に対して、正しい認識をもって教壇に立つ心構えの必要性を強く感じてきました。私たち、教職員も自らの差別心と向き合い、人権問題について学び続けることが不可欠であると思います。保護者の皆様にも、お子様の学びを通して、人権について考えていただける機会となれば幸いです。お待ちしております。